



社団法人 座 -くら-
NARA DARC



奈良ダルクの大きな特徴は、治療共同体の階層システムを特長にし、その特長の中に欧米で認められている効果の高い治療プログラムを取り入れていることです。ここでいう特長とは、共同体のなかで階層や役割・責任・自由・権利を明確にした相互扶助システムをヒエラルキーで確立しています。

STAGE 1

奈良ダルクでは民主的な雰囲気を作り、ユーザーの主体的なモチベーション維持を大切にしています。ステージ1のメンバーはステージ2以上のメンバーに支えられます。ステージ2になる条件はいくつかありますが、特徴としてユーザー自身でしかステージ2になるための申請ができないこと、スタッフが決定するのではなく共同体メンバー全員の承認が必要であることがあげられます。ステージ2になることは自由や回復における責任が増え、社会性の向上意欲が求められはじめます。

STAGE 2

ステージ2になると施設周辺の一人での行動ができるようになります。また、ステージ1のメンバーのサポートが求められます。ここからが相互支援システムの効果がみられるようになります。RDや治療グループへの積極的行動も当然のこと必須になってきます。ステージ3にあがるには同じく全員の承認が必要になります。ここではステージ2にあがる時ほど簡単ではありません。プログラムの進捗状況や治療グループの話し方や聴き方、社会性、モチベーション、生活意欲、言葉、身だしなみ、髪などの清潔感、リーダーシップ、回復モデルとしての責任など治療共同体を守ることが求められます。

STAGE 3

奈良ダルクでは、社会スキルを求めます。なぜなら、アディクションの進行中に損なわれた(学ばなかった)習慣を身につけるためです。ステージ3では勿論、RDの終了、治療グループのファシリテート能力、パソコンスキルへの参加(8回)、ハウスの雰囲気作り、備品の管理や食材の管理といった役割の責任を学びます。ステージ3からは事務所の出入りが求められる。モチベーション維持や回復を様々な状況で実感することを助けています。ここからは襟付きのシャツを着ることを求めています。勿論アクセサリーなどははずし、これから社会で就労していくことを知ります。また、社団法人で「座の塾」農業プログラムを用意し重複障がいをもったメンバーの回復を助けています(アディクション研究センター協賛)。希望者にはステージ3から「座の塾」に移行します。

マネージャー

マネージャーではプログラムプロバイダーを担います。プログラムは手渡すことで更に獲得するものが増えるからです。プロジェクトを使い、RDやREBTなどの治療プログラムを伝えていきます。また、エンカウンターグループでのファシリテーターも務めます。ここまでくると低かった自尊心も回復し責任感や創造性を持ちリーダーとしての自己信頼を学び始めます。その他にも、スタッフやマネージャーへの適切な業務報告も求められます。また、家族との関係修復のための対面プログラム(RDに沿った形式・家族プログラムディレクターサポートのもと)も実施することを求めます。

ユーザーボード

ボードメンバーはステージ3のメンバーとマネージャーのサポートが求められ、施設全体をサポートします。また、経理より経費を渡され責任も増えます。責任以外にも自由や権利も増え、外泊や家族旅行、イベントへの参加や休日の過ごし方なども学んでいきます。

就労・就学

段階が進み、就労支援が始まります。履歴書の書き方や面接のスキルなどをSST(ソーシャルスキルトレーニング)でスタッフから学びます。ここまでの回復支援が役に立つ時期です。資格取得のための就労支援も行っています。

卒業・自立・アフターケア

決められたカリキュラムをすべて終了卒業認定のセレモニーです。希望者には家族や友人にも参加してもらいます。自立後のアフターケアも行っています。

トレーナー/アシスタント

スタッフ志望者には、トレーナー(3ヶ月)アシスタント(6ヶ月)の期間を設け、法人で定められたカリキュラムを実施してもらい最終的にテスト合格者がスタッフになります。(現在、「アディクションカウンセラー」養成のためのパッケージをアディクション研究センターと研修センターで、国内外の研究者やカウンセラーと研究・開発しています。)



リカバリーダイナミクス(RD)

米国法人「セレンディティーパーク」で開発され「薬物依存」のみならず「ギャンブル依存」や「アルコール依存」の解決策として高い効果があります。RDとは12ステップを治療施設用に開発したものです。利点は、12ステップを部分的にはなく、1つの連続したパッケージとして提供できること、ワークブックやマニュアルが完備していること、確かな治療実績があること(現在7ヶ国400ヶ所以上の回復施設に採用されている)、回復の大切な道具である「12ステップ」プログラムのスキルは施設卒業後に自動グループにスライドし、生涯治療である依存症からの回復の自励ツールとして使えるということが挙げられます。奈良ダルク入所中に12ステップを3回することがプログラム化されています。

ファミリー・リカバリーダイナミクス(FRD)

家族向け12ステッププログラムの概要を1回~12回のワークショップでお伝えするので、奈良ダルクのオリジナルプログラムです。とことんRDのエッセンスを取り入れています。12ステッププログラムに初めて触れる方は、プログラム受講後、それぞれの自励グループなどで、スポンサーシップをお取りになり、本格的にプログラムに取り組まれることをお勧めします。また、今後「セレンディティーパークジャパン」が設立されましたら、家族向けにもRDをお伝えできる予定です。

マトリックス・モデル

「マトリックス研究所(ニューヨーク)」で開発された「マトリックスモデル」を奈良版として「NARARPP(奈良・アディクション・リラップス(再発)・プレベンション(予防)・プログラム)」として国立精神・神経センター及び奈良県立医科大学付属病院と連携を取りながら進めています。

REBT(論理情動行動療法)

アメリカの心理療法家アルバート・エリスの考え方をベースに創始された心理療法の1つです。人間の苦悩は、出来事そのものに原因があるのではなく、その出来事に対する受け取り方や捉え方に問題があり、その受け取り方や捉え方を変えれば感情的な痛みを回避し自滅的・破壊的行動をすることなく生きることができるとされています。「完璧主義」や「怒り」などにわかれたテキストになっています。アディクションの悩み(自分への無力)を解消するという考えを骨子に、ABC理論という理解しやすく簡潔な形にまとめた理論を中心に展開される心理療法プログラムです。

エンカウンターグループについて

奈良ダルクでは、エモーショナルリテラシーの獲得を目的としたプログラムを実施しています。エンカウンターグループという治療的グループの中で、他の入所者に対して「傷つき」「怒り」「孤独」「不安」「痛み」などの感情を伝えることがプログラム化されています。グループが開かれる時に、グループの中で相手と向き合って座り、自分の感情とその理由を伝えます。治療共同体の中でエモーショナルリテラシーを重視する理由は、依存症の背景として感情が大きくかかわっているという考えに基づいています。依存症などの自分に対する暴力や犯罪などの他者に対する暴力の背景には、自分自身の中で対処できていない感情が根底にあると考えられています。自分や他者に対する暴力から解放されるには、自分自身の中に生じる感情を理解し、表現することで新しい生き方を身につけることができるとされています。そのために、エモーショナルリテラシーの獲得が目標とされています。他の入所者との関係の中で生じる「不安」や「恐れ」を相手に伝え、その「不安」や「恐れ」の背景を参加者一人一人が考えていきます。その中で大事なことは、参加者一人一人が「援助者」になることです。仲間同士で、「どうしてそう感じたの?」「自分にはこんな恐れがあるけど、あなた自身はどう思う?」と問いかけ、エモーショナルリテラシーを助けます。



プレジャー(アウトドアプログラム)

※コールマンジャパンのご支援で行っています。



プレジャープログラムとして、キャンプ/カヤック/スキューバーダイビング/登山/ウェイクボード/ジェットスキー/サーフィンを勧めています。自然と遊び、新しい環境で健康的な自由を手にしストレスマネージメントも学びます。



座の里プロジェクト

※財団法人 福岡緑地協会のご支援で行っています。

アディクション研究センターと協働で、雇用創出のために進めているプロジェクトです。地域の休耕地・休耕田を利用し農作物の栽培に取り組みます。耕作作物は、数種類の単品規格農作物ではなく、季節に合わせた多種多様な農作物の栽培です。そして生産された農作物を直売店で販売します。生産者とその農作物に適正な金額を付け、アウトレット農作物さえも販売できるというシステムを導入したいと考えています。また、インターネットでの販売も視野に入れていきます。また、養鶏にも取り組み、生産された農作物と共に飲食店の経営までをパッケージとし、回復者の就労までのルート(出口)にしたいと考えています。今日、日本の農家が置かれた状況を見ても、休耕地・放棄地が増え、農業の継承者は育たず、日本の農業を担っている方々の平均年齢が64歳となっています。継承者も著しく減っている中、『座の里プロジェクト』で地域社会からも必要とされる立場で充実した生活が送れる希望のある回復プランを提供します。

ドッグケアプログラム

※D.I.N.G.O インストラクター・トレーナー 山越哲生氏のご支援で行っています。

目的は「他者を知りコミュニケーションのスキルを身につけること」や「命の大切さを知ること」。本来、犬はとっても小さなサインを読み取り、とっても小さなサインで気持ちを表します。人間は犬と比べるととっても見づらくて大雑把です。犬のサインを理解するにはサインに対する感度(目盛り)を上げないとうまくいきません。(これがとっても難しい)犬の感情や感じ方を理解し尊重することで始めて信頼関係が生まれます。そのためには犬のコミュニケーション方法を学ぶ必要があります。ドッグケアは自己や他者との信頼関係を学ぶのに素晴らしい時間です。



研修センター

社団法人座の法人内に設立されたアディクションカウンセラー養成のための機関です。国内外から講師を招聘し依存症支援の技術の向上に努め、カウンセリングスキルを持った回復者カウンセラーの養成にフォーカスをあてています。アディクション研究センターの研究事業のフィールドでもあります。また、奈良県の委託事業としてもセミナーを開催しています。

海外研修事業

海外の治療施設を視察することが大切であることはいうまでもありません。奈良ダルクでは積極的に視察に行き、クオリティーの向上に努めています。

訪問実績
ゼネティークパーク/アミティ /ABCリハビリセンター/ランチリハビリ /クリアファンデーション/サウスコーストメディカルセンター/ベティーフードセンター/ヒナマウカ/ハーゼルデン/ラップ/ヒーリングハウス

ぶどう書房

社団法人座の法人内に設立された翻訳出版部門です。依存症先進国である欧米諸国には、沢山の依存症関連書籍が出版されています。しかし、依存症への理解が少ない日本の土壌を考えると、それらの本がいかに良いものであっても、日本の出版社からは出版される見込みがないものが殆どです。欧米諸国で出版されている、回復に役立つ良書を採り出し、翻訳・出版していくことを決めました。日本の仲間たち、関係者の皆様方、一般社会に多くの情報を提供させていただくことが、私たちの使命の一つと考えております。また、アディクション研究センターの研究ジャーナル「アディクション・ジャーナル」の出版もぶどう書房で担います。

アディクション研究センター

社団法人座の法人内に設置された国内外の研究者で構成された研究機関です。主にアディクションカウンセラーに関する心理学・雇用創出に関する社会学を研究します。学会発表や「アディクション・ジャーナル」の発行もします。座の里と研修センターが協働しています。

週間プログラム

	月	火	水	木	金	土	日	
午前	RD	クリニック	RD	RD	REBT	プレジャー	セルフ・ケア	
	ハウス ミーティング		STAFF ミーティング (STAGE3以上 STAFF 全員の会議)	中間層 ミーティング				STAFF エンカウンター グループ
	法人本部・各施設 ディレクター・ プロジェクトの 代表者・ プログラム プロバイダー ミーティング		RDプロバイダー ミーティング	クレームボックス ミーティング				
午後	マトリックス	SPORTS	SPORTS	RD	治療共同体 ミーティング			
	個人指針 ミーティング		RDプロバイダー ミーティング		エンカウンター グループ			
	ユーザー ミーティング		ワーク	ワーク	ワーク			
夜	NA・GA・AA	NA・GA・AA	NA	NA・GA AA・ACA	NA・GA・AA	NA・GA・AA	NA・GA・AA	
	クロージング ミーティング	クロージング ミーティング	クロージング ミーティング	クロージング ミーティング	クロージング ミーティング	クロージング ミーティング	クロージング ミーティング	

法人概要

社団法人 庫 -くら-
 代表理事 矢澤 祐史
 職員数 20名
 法人 本部 所在地
 〒635-0065 奈良県 大和郡高田市 東中 2-10-18
 TEL & FAX 0745-22-0207
 電話受付時間 月曜日～土曜日 9:30～17:00 日曜日 10:00～17:00
 E-MAIL info@kura-ag.org
 URL http://www.kura-ag.org

奈良ダルクデイケアセンター

自立訓練(生活訓練)事業所 (事業所番号 2910800271)
 定員 20名 利用料 障害者自立支援法において、国の定める負担額
 食事・その他個人にかかる費用は自己負担
 Serenity Award 共同生活介護事業所 (事業所番号 2921300014)
 定員 10名
 家賃 月額 38,000円 (生活保護者に関しては生活保護が定める支給額)
 食費 月額 45,000円
 共益費等(光熱費、日用品、お米、調味料、外食費等)
 月額 40,000円 (生活保護者の場合は支給額より生活費、家賃、食費を除いた額)
 利用料は障害者自立支援法において、国の定める負担額

アドイクション研究センター (心理学/社会学)
 奈良ダルク研修センター (アドイクション関連セミナー企画 アディクション・カウンセラー養成)
 ふどう書院 (翻訳・出版事業部)
 セレニティーパークジャパン設立委員会 奈良事務局 (チャンプル依存症 回復施設)
 セレニティーパークジャパン設立委員会 東京事務局 (ファミリーサポートセンター)
 産の里プロジェクト (産業・養殖業)
 「産の里 高田」「産の里 山崎」「産の里 古野」「産の里 伊賀」



各施設のご利用や事業内容に関するお問い合わせなどは

TEL&FAX **0745-22-0207**

電話受付時間 月曜日～土曜日 9:30～17:00 日曜日 10:00～17:00

メールでのお問い合わせはこちら (24時間受付)

E-mail info@kura-ag.org

社団法人 庫 -くら- ホームページ

URL <http://www.kura-ag.org>

